

水難事故に注意

市 政

民間企業経験者、障がい者
市職員を募集

令和9年4月1日採用の市職員を募集します。試験案内は8月12日(水)から新潟市ホームページに掲載します。

●申し込み 8月12日(水)～9月1日(火)に同ホームページから申し込み ※障がい者区分は9月4日(金)まで

問 人事委員会事務局(☎025-226-3515)



詳しくは
こちら

区分	職 種	受験資格
民間企業等 職務経験者	一般行政、 水道事務	昭和40年4月2日～平成10年4月1日に生まれ、 職務経験が直近5年のうち3年以上ある人
	一般行政 (デジタル)	昭和40年4月2日～平成10年4月1日に生まれ、 職務経験が直近5年のうち3年以上あり、指定 の情報処理技術者試験に合格している人
	一般行政 (国際・英語)	昭和40年4月2日～平成10年4月1日に生まれ、 職務経験が直近5年のうち3年以上あり、英語 の語学力が求められる業務経験がある人
	管理栄養士	昭和40年4月2日～平成10年4月1日に生まれ、 管理栄養士免許を持ち、栄養指導や調査、健康増進 などの職務経験が直近5年のうち3年以上ある人
	学芸員(歴史)	昭和40年4月2日～平成3年4月1日に生まれ、 学芸員資格を持ち、歴史資料の調査・整理・保存・ 展示などの職務経験が直近7年のうち5年以上 ある人
	土木、 土木(水道)	昭和40年4月2日～平成3年4月1日に生まれ、 県外に本社を置く民間企業などでの土木工事の 設計、施工管理に関する職務経験が直近7年の うち5年以上ある人
	電気(水道)	昭和40年4月2日～平成3年4月1日に生まれ、 県外に本社を置く民間企業などでの電気設備の 設計、施工管理に関する職務経験が直近7年の うち5年以上ある人
	機械(水道)	昭和40年4月2日～平成3年4月1日に生まれ、 県外に本社を置く民間企業などでの機械設備の 設計、施工管理に関する職務経験が直近7年の うち5年以上ある人
障がい者	一般事務	昭和40年4月2日～平成21年4月1日に生まれ、 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福 祉手帳などの交付を受けている人

※職務経験とは、同一企業などで週29時間以上の勤務を1年以上継続して就業した期間

中原ハ
市長が行く

魅力発見
⑳～南区編～

市長が八区それぞれの魅力を探訪します。今回は南区を訪れました。

今回の見どころは？

南区の最南端に位置する新飯田地区です。江戸時代には信濃川と中ノ口川の分岐点にあり、船着き場として栄え、多くの商人が行き交いました。現在は、果樹栽培が盛んな地域として知られる歴史あるまちです。

有願会まちアルキかかりの山田泰介さんに案内していただき、心地よい川風を感じながら新飯田橋へ。昭和11年に完成したこの橋は、現存する主要道路の橋としては萬代橋に次いで古く、地域の歴史を今に伝えています。商店街には今も雁木^{がんぎ}が残り、往時の面影が感じられます。有願和尚ゆかりの寺院・円通庵では、良寛^{りょうかん}との交流など、この地に伝わる歴史を伺いました。まちを歩くことで、受け継がれてきた文化や暮らしの温かさを感じました。

ほかにごくを訪れましたか？

みそ蔵「^{こうじ}糀屋団四郎^{とめがませいほう}」です。創業以来使い続ける和釜で大豆を煮る「留釜製法^{とめがませいほう}」を守り、手作りの糀と国産原料にこだわったみそ造りを続けています。4代目の藤井寛^{ゆたか}さん・康代さんご夫婦が伝統を大切にしながら新しい商品作りにも挑戦する姿に未来へ受け継がれる力強さを感じました。

歴史あるまち並みと人の温かさ、伝統の技に出会える新飯田地区へ皆さんもぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。



▲左から中原市長、有願会まちアルキかかり山田泰介さん



▲「昔はさまざまな品物を扱う店が道の両端に軒を連ねていました」と当時の様子を語る山田さん。歴史が今も息づく商店街です。



▲南部鉄器の特注釜に刻まれた「団四郎」の文字。「小さなみそ蔵だからこそ手間暇をかけたおいしいみそ造りにこだわりたいです」と藤井寛さん

市急患診療センターなど 発熱時は受診前に電話連絡を

固 地域医療推進課
(☎025-212-8018)

急患診療センターなど 適正な受診を

8月11日(火)～16日(日)は大変な混雑が予想されます。発熱時には、抗原検査キットや救急医療電話相談=右=を利用するなどして、病気やけがの程度に応じた適正な受診に協力をお願いします。

受診を希望する場合は、事前に同センター(☎025-246-1199)または西蒲原地区休日夜間急患センター(☎0256-72-5499)へ電話連絡をしてください。

※混雑状況や同期間に診療している医療機関は新潟市ホームページに掲載



詳しくは
こちら



受診するか判断に迷ったときの相談窓口

新潟県救急医療電話相談

急病時の対処方法の相談に看護師などが応じます。 時18時～翌8時
※日曜、祝日は8時～翌8時

15歳以上の相談	# 7119 または ☎025-284-7119
14歳以下の相談	# 8000 または ☎025-288-2525

新潟県AI救急相談アプリ

いつでも救急相談ができます。スマートフォン向けアプリ「LINE」で「友だち登録」してください。



友だち
登録は
こちら

受診時はマイナ保険証を利用するとスムーズに受け付けができて便利です。

